

令和6年第2回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和6年2月29日（木曜日） 午後1時46分から4時53分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則 高根小学校校長 原政幸・高根中学校校長 三芳雅彦
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第3号～6号、報告第1号

議題及び決定事項等

議案第3号 令和6年度日高市一般会計予算（教育委員会所管）

【原案どおり可決】

議案第4号 日高市文化財保存活用地域計画協議会要綱

【原案どおり可決】

議案第5号 日高市立小学校、中学校及び義務教育学校職員服務規程の一部を改正する訓令

【原案どおり可決】

議案第6号 令和6年度当初日高市立小・中・義務教育学校に係る校長及び教頭の人事の内申について

【原案どおり可決】

報告第1号 専決処理について

【原案どおり承認】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。高根小学校校長、高根中学校校長から義務教育学校開校に向けた進捗状況について報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高根小学校の体育館前の駐車場は狭いが、義務教育学校開校に向けて駐車スペースは充足しているのか。

(高根小学校校長) 体育館前以外に校舎東側にも駐車場がある。さらに、統合の改修に合わせて、数台分の駐車場を新設しており、教職員の増加には対応できている。

(委員) 部活動を再編したとのことだが、大変ではなかったか。

(高根中学校校長) 保護者や生徒から大きな反対の声はなかった。アンケートでは陸上部の人気が高かった。

(委員) 地域学校協働本部に学習支援をお願いしているとあるが、具体的な内容はどのようなことか。

(高根小学校校長) 硬筆の添削やミシン指導のサポート、図工指導のサポートなどである。

(委員) 学問的な支援はあるのか。

(高根小学校校長) 今のところ行っていない。日高塾という形で放課後に地域の方に英語などの指導をいただいている。

(委員) 前期課程で「教えない教育」を実践するのは難しいので、後期課程の専門の教員が教えることはよいことだと思う。前期課程と後期課程で授業時間が違うと思うが、日課表はどう考えているか。

(高根中学校校長) 1校時目のスタートをそろえている。2校時の終わりで10分のずれのため、後期課程の教員が前期課程で教えることができる。給食は前期課程が10分早く、5時間目の開始はそろえている。

(委員) 後期課程の教員が前期課程に教えに行きやすいように考えてほしい。

(委員) 制服について、量販品とはどういったものか。

(高根中学校校長) 学校の完全オリジナルではなく、他の地域でも使っているものを制服とすることで安価で手に入る。

(委員) 紺のジャケットならよしとするなど、汎用性を更に広げてもよいと思う。生活保護世帯の制服購入代は補助される。

(高根中学校校長) スラックスとスカートはほぼ半額となった。ワイシャツを止めてポロシャツにしたことによりさらに価格が下がった。量販店で買ったジャケットでも、ワッペンを付ければよいこととしている。ポロシャツもワンポイントまでならよいこととしている。学校として、フォーマルとカジュアルの違いは教えたい。

(委員) 制服は第一礼装でもある。冠婚葬祭にも活用できる。

- (委員) 義務教育学校の開校に向けて苦勞したことは何か。
- (高根中学校校長) 小学校と中学校の教員の考えかたの違いを合わせていくのが大変である。中学校側がベストであると思った提案が、そうでなかったりした。
- (高根小学校校長) 小学校と中学校では文化の違いはある。例えば、中学校では朝の短時間で打合せを行うが、小学校ではいち早く子どもたち所へ行くため、朝の打合せは行っていないなど、お互いに意見を交換していくことが大切である。
- (委員) 教科担任の空き時間の有効活用も考えたほうが良い。
- (教育長) 義務教育学校に対する校長の思いはどうか。
- (高根中学校校長) 昨年度までは教員の意識が高まらず不安を感じていたが、今年度に入り教員の意識が前向きに変わってきた。
- (高根小学校校長) 小学校は迎え入れる側であるので、校舎の改修などの準備を進める中で教職員の意識は高まってきている。
- (委員) 中学生の思春期に小学校の教員が接することも大切である。よい刺激になると思う。勉強は本人が気づかないと取り組まない。気づくには心に余裕と癒しがなければならないと思う。
- (委員) 今年度の県立高校の入試は、昨年と比較して難易度は下がったように思うが、暗記だけで解けるものは少ないと思う。実力が問われるものである。それを3年間で教えるのは大変である。9年間を通じて育てていかなければならない。学力向上も課題である。
- (委員) 後期課程の教員が前期課程で授業を実施するための空き時間は確保できそうか。
- (高根中学校校長) まだ、教員の人事が決まっていないので何とも言えないが、1つの教科で教員が2人いれば、多くの回数前期課程の授業に行くことができると思う。週20校時を超えない範囲でカリキュラムを組んでいきたい。
- (委員) 後期課程の教員の空き時間を有効活用できればよいと思う。
- (委員) 特別教室の移動は進んでいるか。理科室には多くの薬品等があると思うが、どう考えているのか。
- (高根中学校校長) 教頭が理科の教員なので、いろいろと考えてもらっているところである。
- (委員) 家庭科室の包丁や技術室のノミなどもある。引越しの際に整理をすることが大切である。
- (高根中学校校長) 必要なものだけを移動させるように考えている。
- (委員) 後期課程の教員の空き時間について、全てを埋めてしまうのはよくない。
- (高根中学校校長) 週29校時のうち20校時を授業に充てることを目安としている。20校時に満たない部分を前期課程で授業を行ってもらおうと考えている。
- (委員) 部活動の顧問は後期課程の教員が行うのか。
- (高根中学校校長) 基本的には後期課程の教員が行う。前期課程の教員は日中は子どもたちに付きっきりになるため、放課後に授業研究を行われなければならない。また、部活動数も減ったので現在でも顧問を3人程度つけ、ローテーションできるようにしている。
- (委員) 制服を見直しているが、通学かばんは考えているのか。

(高根中学校校長) 現在のものは機能性が優れていて、リュックになり両手が空く。かばんの自由化も考えたが、両手がふさがったり、斜め掛けで体のバランスが悪くなるなどを考慮して現状のままとしている。

(委員) 重いものをたくさん入れた状態で、リュックのベルトを緩くして背負うことは体の負担となるので注意が必要である。

(委員) 前期課程の教員がいるということは、不登校の対策にもつながると思う。単学級だとクラス替えなく9年間を過ごす事となる。思春期になって、前期課程の教員に会えるというのは良い環境だと思う。大勢の教員の目で子どもたちを見守ってもらいたい。

(委員) 前期課程の児童が部活動へ参加することはどう考えているか。小学生でも一生懸命やりたい子どももいると思う。

(高根中学校校長) 前期課程と後期課程での体格の差を考慮すると本格的に部活動に参加するのは難しいかもしれない。週1回のクラブ活動での参加などを考えている。

(委員) スウェーデンでは、先進的にICT教育を推進していたが、学力低下により一部アナログに戻す動きが出ている。デジタルとアナログのバランスは大切であると思う。

(教育長) 日本の教育においては全てがICTという方向ではない。発達の段階に応じてバランスよく活用していくことが大切である。漢字を覚えるには書いて練習するのが大切。また、繰り返しの計算の宿題などは、できる子どもにとっては苦痛となる場合がある。一律に同じではなく、そこを見極めることも大切である。ICTにも同じことが言えると思う。

(委員) 理解力などを分析するにはICTは活用できるし、理科などは3次元で見ることができるメリットもある。しかし、デジタルに依存しすぎて電子機器がないと対応できなくなることはよくないと思う。

(教育長) 学校ではデジタルと平行して、体験的学習も重要視している。実験や活動をとおして体験することも大切なことである。

(委員) ICT環境が整ってきているので、その功罪をよく見極めてもらいたい。

(委員) 変化の激しい時代である。若い人たちの声をきく能力がなければならぬし、若い人が意見を言える環境にしなければならないと思う。押しえつけてはならない。

(委員) 井の中の蛙になってはいけない。遠方の学校などとも交流・研修することも教員にはよい刺激になるのではないか。

(委員) 日高総合公園の第2駐車場整備とはどういった内容か。

(教育部長) 浄化センターの空き地を活用して、総合公園の駐車場やスケートボード場として整備するものである。

(委員) 教科書展示会とはどういったものか。

(教育長) 日高周辺では、飯能第一小学校で実施しており、教科書採択にあたって、全ての教科書を展示している。一般の人でも閲覧することができる。

(委員) 他県においてうずらの卵で窒息死した事件があった。食材の内容検討だけではなく、教員の対応方法も検討したほうがよいと思う。

(教育長) アレルギー対応、心肺蘇生など緊急時対応を再認識しておく必要がある。

(委員) AEDの設置場所もわかり場所でなければならない。

(委員) 学校現場で完璧な対応は難しいと思う。必要最低限な訓練は行っておく必要がある。

(委員) 時間割について、高麗川小学校は授業時数が減ると聞いているがどうか。

(教育部参事) 小学校や中学校では年間を通じた標準授業時数が定められている。その時数を達成するために、各校余裕をもって時間割を組んでいる。余裕が多すぎるとの指摘があるため、余剰時数を減らすものである。

(委員) 減らすことによって、学校行事に影響が出ないように考えてもらいたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第3号

(委員) 高萩小・中学校渡り廊下設計委託料について、大まかなレイアウトはできているのか。

(教育総務課長) 令和6年度に学校と協議しながら決めていく。小学校の体育館の南側を通して中学校校舎に接続させる予定である。

(委員) 体育館内を通路としてもよいかもかもしれない。動線が増えることによって、子どもの行動範囲が狭くなってしまうことが懸念される。屋根はあったほうがよい。

(委員) 体育館への空調設置のスケジュールやどういったものを設置するのか。

(教育部長) 令和6年度に工事設計を実施し、令和7年度に設置予定である。

(教育総務課長) 体育館は断熱性能が低いことから通常のパッケージ空調に加え、スポット式の空調も研究しているところである。

(委員) 英語教育推進事業の英語指導助手派遣委託料について、AETは何人きているのか。

(学校教育課長) 7名である。事業者に派遣を委託している。

(委員) 小学校教員用指導書整備事業について、1教科1冊ずつの予算か。

(学校教育課長) そのとおりである。

(委員) 学校給食費管理事業について、給食の食材費であると思うが、保護者からの集めたものと等しいのか。

(教育部長) 完全にイコールではない。令和6年度については、物価高騰対策のため、国の地方創生臨時交付金を活用して、月々の給食費を500円補助する予定である。

(委員) 高萩北公民館の改修工事の内容は。

(教育部長) 老朽が進行しているため、外壁、屋根やトイレ等、全面的に改修を行う予定である。

議案第4号、5号 【質疑なし】

議案第6号 【非公開のため記載せず】

報告第1号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 3月定例会：3月14日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○ 4月定例会：4月18日（木曜日）午後1時40分から 委員了承